

第1回 賀茂地域豪雨災害減災協議会 議事要旨

1. 開催日時

平成29年2月3日(金) 15:00～16:30

2. 会場

道の駅開国下田みなと 4階会議室3

3. 出席者

- ・下田市長
- ・東伊豆町長
- ・河津町長
- ・南伊豆町長
- ・松崎町長
- ・西伊豆町長
- ・気象庁 静岡気象台長
- ・国土交通省 中部地方整備局 河川部地域河川課 調査指導・津波防災係長(※代理出席)
- ・静岡県 危機管理部 危機対策課長(※代理出席)
- ・静岡県 政策企画部 賀茂振興副局長(※代理出席)
- ・静岡県 交通基盤部 河川砂防局長
- ・静岡県 交通基盤部 下田土木事務所長

4. 議事

(1) 賀茂地域豪雨災害減災協議会設立の背景、目的及び規約

→規約(案)について、承認された。

(2) スケジュール

(3) 現状の水害リスク情報や取組状況の共有

(4) 減災目標と目標達成に向けた取組

【意見交換における主な内容】

(1) 賀茂地域豪雨災害減災協議会設立の背景、目的及び規約に関すること

[協議会構成員]

- ・ 協議会を設立して、今後どのように進めていくのか。

[事務局]

- ・ 本協議会では、水害リスク等の情報共有、減災への課題の抽出・共有を目的とし、今後の取組方針を検討していく。

[協議会構成員]

- ・ 伊豆半島の河川は流域が各市町を跨っておらず独立していることを踏まえた検討が必要ではないか。

[事務局]

- ・ 各市町(1市5町)の県管理河川を対象に、河川毎に異なる特徴を踏まえた減災対策を実施する。
- ・ 伊豆半島にある河川は地形・地質条件が似ていることから、同じような問題点が共有できるため、各河川の抱える問題点を共有し、他河川への展開することは意義があることだと考える。

[協議会構成員]

- ・ 本協議会ではソフト対策だけではなく、ハード対策への対応も考えていくのか。

[事務局]

- ・ 豪雨災害減災対策として、住民の早期避難方法の確立(ソフト対策)と河川整備、土砂災害対策等のハード対策を一体的かつ、計画的に取り組む。

[協議会構成員]

- ・ 取組方針が、机上のものにならないよう、西伊豆町で被害が発生した平成 25 年7月洪水を踏まえたものとして欲しい。

[事務局]

- ・ 過去の災害から課題を抽出し、支援について提案していく。

(2)スケジュールに関すること

[協議会構成員]

- ・ 今後の協議会・幹事会は、どのように運用していくのか。

[事務局]

- ・ 計画策定時に協議会の開催を予定し、検討やフォローアップは、幹事会を中心に運営していく。

(3)「現状の水害リスク情報や取組情報の共有」及び「減災目標と目標達成に向けた取組」に関すること

[協議会構成員]

- ・ 豪雨時に要配慮者が避難場所を何度も移動するのは困難である。逃げ遅れによる人的被害削減のため、防災情報を迅速に発信して欲しい。
- ・ 流木による河積阻害が原因となる被害が多いので、森林管理をして欲しい。

[協議会構成員]

- ・ 気象庁や県の土砂災害情報・雨量・水位データ等の情報は、充実してきているが、高齢化率が40%以上と深刻化していることから、迅速な避難情報の伝達が重要だと考えている。
- ・ 気象庁では、国や県管理河川だけではなく、小河川についても、河川毎にレベル別の危険度を表示できる基準を作成している。今後、振興局・市町単位の防災対応に活用できるようにする。

[協議会構成員]

- ・ 迅速に避難情報を出すとともに、必要な時に必要な情報を出すことが重要であると考えている。
- ・ 防災対応には、市町、県の協力が不可欠であると考えている。

(4)その他

[協議会構成員]

- ・ 浸水想定区域を示すマップは都市計画等に大きく影響するため、洪水浸水想定区域を指定する際は、慎重に行って欲しい。

以上